

アルテピア

社団法人 北海道美術館協力会

札幌市中央区北2条西17丁目 TEL・FAX 011-644-4025



三沢厚彦 《Animal 2001-01》

2001年 クスノキ、油彩 72.0×36.0×198.0cm 〈北海道立旭川美術館蔵〉

チーターである。少し腰を引き、脚をふんばったポーズは、獲物を前に飛びかかる瞬間をうかがっているような、からだに秘めた動きを感じさせる。しかし、その目、その顔つきは、どう猛さよりむしろ愛きょうがまさっているのではないか。丹念にノミを使って彫り上げたかたち、そこにあらわされた動きや量感、そして見る人を思わずほえませるような表情。木彫の伝統を脈々と受け継ぎながら、現代的なポップな感覚をにじませたこの作品は、当館でも人気の高い一点である。

作者・三沢厚彦は、1961年、京都生まれ。木を素材に、彩色した動物の彫刻“Animals”を2000年からシ

リーズで手がけており、2001年には第20回平櫛田中賞を受賞している。

当館では、近年注目の高いこの作家の個展を、6月16日（土）から8月23日（木）まで開催する。タイトルは「三沢厚彦 ANIMALS+ ちょうこく動物園、ただ今開園！」。大人から子どもまで親しみやすい動物の表現を通じて、木の彫刻がもつ魅力を十分に感じいただける展覧会になるであろう。

今年の夏は、旭川美術館で繰り広げられるアニマル・ワールドへ、ぜひどうぞ！

（道立旭川美術館学芸課長 中村聖司）

ミュシャとサラ・ベルナール

北海道立釧路芸術館 学芸主幹 柴 勤

ミュシャのカレンダーは定番中の定番。その中で、もっとも人気が高いのは女優のサラ・ベルナールを描いたものだろう。インターネットを覗くと、カレンダーはもとより、ポスター、ジグソーパズル、さらに着せ替え人形まで見ることができ、もちろん、このミュシャ人気は昨今に始まったことではなく、文芸雑誌「明星」の挿絵やイラストにまで遡ることができる。最初に登場したのは何と一九〇〇（明治三三）年の第六号、与謝野晶子の短歌に添えられたものであったという。その後も同誌に繰り返し掲載されているのは、おそらく与謝野晶子の歌の世界が、ミュシャが奏でるアール・ヌーヴォーの魅力と重ね合わされたからであろう。

クリスマス、印刷業者ルメルシエは、サラ主演の『ジスモンダ』再演のためのポスターを元日までに制作するようルネサンス劇場から依頼される。そこでクリスマス休暇をとらずに仕事をしていったミュシャに白羽の矢が当たったのだ。ミュシャは早速、燕尾服と帽子を調達し、スケッチブックを携えて『ジスモンダ』が上演されている劇場に向いた。舞台が終わるとカフエでスケッチを描き、翌日には彩色したスケッチを印刷所に持っていった。ルメルシエは不満だったが、結果的にはサラ・ベルナールが気に入ったという劇場からの電話が入り、すぐに印刷開始。一月一日のパリの街はミュシャのポスターで溢れかえったという。



ミュシャ「ジスモンダ」一八九四年



ナダール『ブリタニスキヤス』のサラ
1860年代前半

この威厳に満ちた人物像と細部にわたる繊細な装飾からなる『ジスモンダ』のポスターは、ミュシャにとっても、サラ・ベルナールにとっても幸運の女神であった。ミュシャは一夜にしてアール・ヌーヴォーの旗手となり、サラは、演劇界の女王として君臨するきっかけとなったのだ。その後は両者の契約により、ほぼ一年に一枚、計六枚におよぶサラ・ベルナール主演の芝居のポスターが生まれた。

サラ・ベルナールの女優としての歩みは、フランス国立劇場コメディ・フランセーズから始まる。まだ一八歳には間があった。以来、さまざまに紆余曲折を経験しながらも、その美貌と優雅さ、カリスマ性のある演技力、表現力により次第に評価を高め、一八八〇年代には国際的なスター

となっていた。

伝説的スターとも称せられる波乱万丈のサラの人生。そこには多士済々の文学者、芸術家が関わっている。サラの「守護天使」を自任していたのはアレクサンドル・デュマ（大デュマ）だが、同じくロマン派の巨匠ヴィクトル・ユゴーはサラの舞台上に最大級の賛辞の言葉を送った。「まことにあなたは、偉大で魅力的でした。あなたは、私を、この年老いた闘う人間を感動させてくれました。あなたに拍手喝さいしながら、観衆が心動かされ、魅了されていくのを目にして、私は涙しました。あなたが私に流させたこの涙は、あなたのものです。私はあなたにひざまずきます」。その後は、自作『リュイ・ブラス』

の王妃役にサラを抜擢している。まだ若きマルセル・ブルーストも熱烈なサラの称賛者であった。「ただラ・ベルマ（サラ）を聴きに行かせてもらえらという考えだけが、私の苦悩を紛らわせてくれた。私はラ・ベルマの演技によって高貴さや苦悩などのある種の姿が啓示されることを期待していた」。

ベル・エポックの時代に活躍した肖像写真家ナダルが撮影したサラ・ベルナルのポートレートは美しい。おそらく生涯を通してサラの内面をもっとも鮮やかに表現した写真家はナダルだろう。サラに彫刻を教えたのは当時の有名な画家ギユスターヴ・ドレであったが、私生活でも欠かせない存在となった。サラのポスターについていえば、ミュシャの他にもシエレやロートレックが描いている。ロートレックはそれこそ世紀末のポスター芸術をミュ

シャと二分した画家。ミュシャの四歳年下だが、一八九一年、『ムラン・ルージュ』がパリの町中に貼り出されるや、一夜にしてその名が知られるようになったのはミュシャ

の場合と全く同じ。問題のポスターはラシーヌの悲劇『フェードル』を演じるサラ・ベルナル。光と闇に二分された画面の中で、夜に惹かれるフェードル（サラ）がムリア人風のメイドの腕を握り、恐れおののきながら陽の光の中に吸い込まれようとしている。ロートレックの表情や動きをとらえる天才的なデッサンが冴えわたっているだけに、ミュシャの豪奢で装飾的なポスターとはいかにも対照的である。

上部と下部に文字が入るスペース、印象的な不動のポーズをとる中央部の人物、壮麗な衣装、波打つ黒髪、細部は写実的ながらも全体的には様式化された構成。ミュシャを一躍有名にし、アール・ヌーヴォーの代名



ロートレック
「ルネサンス座にて：『フェードル』のサラ」1893年

詞とまでなった『ジスモンタ』のポスターは、そしてサラ・ベルナルの聖なるイメージは、その後に展開するいわばミュシャ芸術のプロトタイプ（原型）である。

今年の六月から、道立釧路美術館で開催される「アルフォンス・ミュシャ」憧れのパリと祖国モラヴィア（六月九日～八月二六日）では、まず一連のサラ・ベルナルを始めとする女性のイメージ、そして自然、ベル・エポック、装飾デザインの各コーナーそれぞれに盛り沢山のメニューを用意、最後は祖国モラヴィアへの想いを託した作品群で締めくくる。選りすぐったチェコの国立美術館コレクションにより、華麗なアール・ヌーヴォーの世界に浸る喜びを、多くの人に味わって欲しい。



ミュシャ「チェコスロバキアYWCA」1922年

ターについていえば、ミュシャの他にもシエレやロートレックが描いている。ロートレックはそれこそ世紀末のポスター芸術をミュ

近代美術館

野田弘志展

写実の彼方に

六月二日(火)〜七月一四日(土)

野田弘志は、現代日本の具象画壇を代表する画家です。洋画界の俊才として早くから注目を集め、以後七〇歳を迎える今日まで、たゆむことなく第一線で作品の制作を重ねてきました。西欧の古典絵画に学んだ卓越した写実描写によって、事物の実在感を徹底的に追究した作品を制作し国内外から高い評価を得ています。

漆黒の背景に花や果物が浮かび上がる一九七〇年代の作品、一九九〇年代

から登場する「TOKIJIKU」
「THEV」シリーズ。写実描写を極めた画家は、たんに対象を見えるままに描くのではなく、モノが存在すること自体がもっている美を表現しようとしてきました。初期から今日に至る代表作約一〇〇点を一堂に集めた本展では、画家が構築してきた美の世界をご覧いただけます。



野田弘志
(TOKIJIKU(非時)XII Wing 1993年)
豊橋市美術博物館蔵

三岸好太郎美術館

開館三〇周年記念
ジョルジュ・ルオーと三岸好太郎展

九月八日(土)〜一〇月二一日(日)

ジョルジュ・ルオー(一八七二〜一九五八)はパリに生まれ育ち、モローに師事したフランス人画家です。道化師の姿やサーカス、キリスト教的主題をしばしば画題として取り上げたルオーは、描くことを通じて人間を深く見つめ続けました。モチーフを縁取る太い線や、力強い筆遣い、重厚感のある色彩、といったルオー作品に特徴的な要素は、日本人洋画家・三岸好太郎(一九〇三〜一九三四)を深く魅了しまし

た。とりわけ、三岸の描く道化師像や人物像に、ルオーの影響を強く感じさせる画風が見られます。

この展覧会では、ルオーが三岸に与えた影響に着目しながら、この二人の画業を紹介するものです。松下電工汐留ミュージアムのルオー・コレクションを中心とするルオーの作品と、当館所蔵の三岸好太郎作品とをあわせてご覧いただけます。



三岸好太郎
(道化)
1930〜31年頃

旭川美術館

モーリス・ユトリロ

「孤独な魂が描いた街角」

九月一日(土)〜一〇月一四日(日)

モーリス・ユトリロ(一八八三〜一九五五)は、モデルで画家であったシュザンヌ・ヴァラドンの私生児として生まれました。一〇代の半ばから飲酒にのめり込み、治療のために入院を繰り返しながら、ほぼ独学でパリの風景を描き始めます。やがてその絵は広く注目を集めますが、常に母・継父・妻によって生活と制作を監視された彼の心からは、深い孤独感が消えることは



ユトリロ《ラバン・アジル》
1912年頃 八木コレクション蔵
©Jean Fabris 2007,
©ADAGP, Paris, SPDA, Tokyo 2007

なかったと伝えられています。

本展は、ユトリロの初期から、個性的な作風を確立した「白の時代」、続く色彩ゆたかな「色彩の時代」、そしてキリスト教信仰を深めた晩年までの制作を、国内外のコレクションによって回顧するものです。ユトリロの世界に息づく豊かな詩情を味わうとともに、創作の背景にあった彼の軌跡にも思いを馳せたいと思います。

函館美術館

美しさへの挑戦

「ヘアモード・メイクアップの三〇〇年」
四月二一日(土)〜六月三日(日)

いつの時代でも、どこの国でも、「美しくありたい、あり続けたい」と思うのは、女性たちの(そして男性たちの?)大きな願いであることでしょう。「美しさ」を求めて、さまざまに用いられる化粧道具や髪型、衣装、装身具の数々。本展では、ポーラ・コレクションの所蔵品を中心に、女性のおしゃれにまつわる品々や絵画資料などを通して、一八世紀から二〇世紀にかけての、日本とヨーロッパの美の歴史三〇〇年をたどります。



《18世紀のフリゲート艦 ユニスタイル》
ポーラ・コレクション



橋口五葉(紅つけ)
1920年
ポーラ・コレクション

美容の工夫・追究ばかりでなく、鏡や櫛、香水瓶や化粧容器などにも贅を尽くし、豪華な調度品や衣装、華麗な装身具、そして手の込んだ、時に奇抜なほどの髪型で「美」に挑みつづけた女性たちの、時代を超え、地域を越えた「おしゃれ」への思いをご覧ください。

展示のほか、マリー・アントワネットの香りなどを再現した「香りの体験コーナー」や、ワンコインでメイクアップやネイルケアを楽しむイベント、映画会やビデオ上映会など関連イベントも盛りだくさんです。ぜひ、おしゃれに、楽しんでみてはいかがでしょうか。

帯広美術館

ヨーロッパ絵画展

―天使がいた時代―

四月二〇日(金)～六月六日(水)

一七世紀のバロック美術は、一六世紀のルネサンス美術を青年にたとえれば、壮年期に相当すると言えます。ルネサンス美術がイタリア中心だったのに対し、バロック美術はヨーロッパ各国でそれぞれの国にふさわしい巨匠を輩出し、ルネサンス美術に優るとも劣らない偉大な美術として、人々の関心を集めてきました。今回の展覧会は、そのバロック美術を



ダニエル・サイター 《キリストと姦婦》
長坂コレクション

によるものです。宗教的な主題に始まり、新しい市民層に愛された世俗画、さらに正統派リアリズムが多くを占める近代絵画にいたるまで、バロックから近代にわたり、時代の雰囲気や好みをよく伝える約六〇点の西洋絵画をご紹介します。

起点として一
九世紀の近代
の絵画に
いたる
作品を
集めた
「長坂
コレク
ション」

釧路芸術館

舞台芸術の世界

四月一七日(火)～五月二七日(日)

二〇世紀初頭に、ロシアの新進気鋭の画家、舞台装飾家、衣裳デザイナー、音楽家、舞踏家が、バレエ・リュス(ロシアバレエ団)の主宰者、セルゲイ・ディアギレフのもとに結集し、総合芸術としてのロシアバレエがヨーロッパを席巻。その舞台装飾や衣裳デザイナーは、革新的な絵画やデザインを取り入れ、当時の芸術界をリードする存在であった。

本展では、ロシアバレエが最も脚光を浴びた一九〇〇年から一九三〇年に



レオン・バクスト
ワツラフ・ミジンスキーのための
衣裳デザイン(バレエ「ペリ」より)
1911年

ディアギレフのもとに集ったナタリア・ゴンチャロワ、レオン・バクストなどを初めとして、ヨーロッパやアメリカで人気を博したロシア人舞台美術家による、バレエ、演劇の舞台デザイン、舞台衣装やそのデザインを中心に、約一九〇点を出品。これまで公開されることのなかったアメリカの個人所蔵作品と、サンクトペテルブルクの国立演劇音楽博物館所蔵の舞台衣装、ロンドンのヴィクトリア&アルバートミュージアムの優れたドローイングによって構成される。

芸術の森美術館

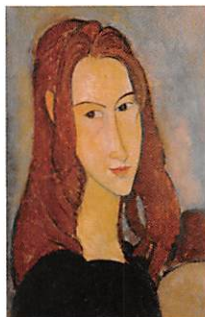
モディリアーニと妻ジャンヌの物語展

モンパルナスに咲いた愛と悲劇

六月九日(土)～八月五日(日)

※会期中無休

夢と煩悶に満ちたエコール・ド・パリの放埒な生きざまを象徴する画家アメデオ・モディリアーニ。二二歳でパリに渡ったこの画家は、憂愁をたたえた独自の画風で次々と傑作を描きましたが、富には恵まれず、肺病に苦しみ、酒と麻薬に溺れ、ロマンスを重ねる日々を送っていました。そのなか、美しき画学生ジャンヌ・エビュテルヌと出会います。ふたりは恋に落ち、ほどなく



アメデオ・モディリアーニ
《赤毛の若い娘、
ジャンヌ・エビュテルヌ》
1918年 個人蔵

生活をともにしますが、病気が悪化し、モディリアーニは三五歳の若さでこの世を去ってしまいます。悲しみに暮れた妻ジャンヌは、彼の死の二日後、アパルトマンの窓から自ら身を投げその後を追いました。モンパルナスの片隅に刹那に咲いたこの愛と悲劇をジャンヌの遺族が秘蔵していたコレクションを中心に、ふたりの描いた絵画と写真資料によって紐解きます。

札幌彫刻美術館

素材の多様性展(本館)

(記念館)

三月三十一日(土)～八月一九日(日)

ロダンやブールデル、マイヨールなどの西欧近代彫刻を学んだ本郷新は、人体を表現した具象彫刻を多く作りました。使った素材は、ブロンズを中心に石、木、テラコッタ、樹脂など様々です。素材について本郷は、「彫刻十戒」の中で「良質の石や木は作者を助ける。作者はその素材に甘え、よりかかった分だけ形の次元は低くなる。石や木や金属が美しければ美しいほど、これに抵抗することによって形は高ま



本郷新
《長恨碑》1959年
の途中
で描い
たスケッ
チも併
せてご
紹介し
ます。

る。そこから彫刻の美が醜化する。」と語っています。本郷が素材の特性を生かしながら制作した彫刻の美をご覧ください。記念館では本郷が描いた花をモチーフにした作品を展示します。彫刻家の眼でとらえた作品は、彫刻では使わない色彩が新鮮です。静物として花瓶に入った花の作品のほかに、函館大沼公園の水芭蕉や仙台青葉城の桜、中国西湖の蓮の花など、旅


MUSEUM CALENDAR

2007. 4 ~ 2007. 10

美術館の特別展覧会ご案内

	4	5	6	7	8	9	10
近代美術館	4/1 ~4/10 天竺社 40周年記念 書道展	4/24~6/3 空海マンダラ 弘法大師と高野山	6/12~7/14 野田弘志展 写実の彼方に		7/21~9/6 生誕100年記念 ダリ展 創造する多面体		9/14~10/21 大倉集古館の名宝 日本美術ノ光華
三岸好太郎	4/1~6/17 ロマンチックな絵本 三岸好太郎の詩と文		6/22~9/2 終わりなき変転の果てに 三岸好太郎の10年		9/8~10/21 開館30周年記念特別展 ジョルジュ・ルオー と三岸好太郎		10/27 ~ 1/20 所蔵 品展
旭川	4/1~4/22 風と大地のしらべ 北の作家たち	4/28~6/7 高橋博信コレクションによる 浮世絵の華	6/16~8/23 三沢厚彦 ANIMALS+ ちようこく動物園、ただ今開園!		9/1~10/14 モーリス・ユトリロ 孤独な魂が描いたパリの街角		10/20 ~ 12/9 丸木俊・ スマの 世界
函館	3/22 ~ 4/5 ロマノフ 王朝と 近代日本	4/8 ~ 4/15 函館 デザイン 協議会 特別展	4/21~6/3 美しさへの挑戦 ヘアモード・メイクアップ の300年	6/9~7/29 画家・岸田劉生の軌跡	8/4~9/24 絵本作家ワンダーランド	9/30 ~ 10/14 奥の若手道 N.E.blood21	10/21 ~ 12/9 現代書 の展開
帯広	4/1 ~ 4/11 感じる! 美術する	4/20~6/6 ヨーロッパ絵画展 天使がいた時代	6/15~8/1 美しさへの挑戦 ヘアモード・メイクアップ の300年	8/10~10/17 北の風土と四季の彩り			10/27 ~ 11/14 浅野 修展
釧路		4/17~5/27 舞台芸術の世界 ディアゴレフのロシア バレエと舞台デザイン	6/9~8/26 アルフォンス・ミュシャ展 憧れのパリと祖国モラヴィア		9/11~11/4 生誕100年 斎藤清展		
札幌芸術の森	3/24~5/27 ディズニー・アート展		6/9~8/5 モディリアーニと 妻ジャンヌの物語		8/11~9/30 洪澤龍彦 幻想美術館		
札幌彫刻	3/31~8/19 平成19年度前期収蔵品展 素材の多様性				8/25~10/8 第13回本郷新賞 受賞記念彫刻展		10/13~3/30 平成19年度 前期収蔵品展 本郷新と 野外展

北海道立
旭川美術館



旭川市常磐公園内 〒070-0044
電話0166-25-2577
ホームページ<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.jp/hk-asamu>

旭川美術館は、1982（昭和57）年7月にオープンしました。場所は市の中心部に近い常磐公園の一角。緑豊かなこの公園は、1916（大正5）年の開園以来、長く旭川市民の憩いの場となってきました。美術館のロビーは全面ガラス張りなので、公園の四季折々のパノラマを楽しむには絶好のポイントです。

コレクションは、木を素材とした造形作品と、道北ゆかりの美術を特色としています。砂澤ビッキヤ舟越桂の彫刻、黒田辰秋の飾棚、難波田龍起の油彩画などは特に人気が高く、展示する度に遠くから足を運んでくださるお客様も少なくありません。

2007（平成19）年は、美術館にとって開館25周年を迎える記念の年。これからも道北地方の美術文化の拠点として、たくさんの方に楽しんでいただけるよう、活動をいっそう充実させていきたいと思っています。

6

三岸節子展



松宮 従子

暗闇の中から、若い節子が私を見詰めています。誘われるように私は、歩を進めて行きました。中には、色が溢れていました。血のような重い赤、踊るような黄色、吸い込まれそうな深い緑、そして誇らかな桜。最後の一枚を見終わったとき、空っぽだった私の心に熱いものが流れてくるのを感じていました。閉館時刻が過ぎたらしく、辺りに

は人影もありません。係りの人に導かれて裏口から外へ出た時は、もう、夕暮れが迫っていました。一昨年の秋に見た三岸節子展は、今も鮮やかに私の心の中に残っています。その数ヶ月前、私は夫を亡くしました。一年足らずの闘病の後の、あっけない旅立ちでした。見送りの行事を終えてしまうと、私の周りには静寂だけが残されました。その日も、追いつてられないように家を出て、ふと目にした、その展覧会に入ってしまったのです。あれから二年近く経ち、私は悲しみと共存するすべを覚え、いまは、美術館協力会ボランティアを目指して研修に励んでいます。

美術館協力会賞を受賞して



札幌平岸高等学校 丹羽美沙都

この度は、「北海道美術館協力会賞」をいただき、誠にありがとうございます。私は、高校に入って初めて油絵を学びました。そして、初めて油絵具を使って絵を描きました。その時は、その油絵具の独特な匂いと自分の不慣れさに、あまり楽しいとは思いませんでした。でも描いているうちに楽しくなり、いろいろな絵が描けることを、世界が広いことを知りました。

世界の広さを知ってからは、私はいろんなことをしました。ライブに行ったり、テストの成績を下げてみたり、



受賞作品「6:00」

他にもいろいろあったのです。でも、過去を振り返っても結局自分自身はあまり変わらないうちがわかってきました。そうすると、世界は広いのだけれど、実際は全然広くないのかもしれない。どっちでもいいのです。そして今更ですが、私はこの大きい自画像があまり好きではないし、ましてこの自画像は「完成した」というわけではありません。

(第四八回学生美術会全道展)

北海道美術館協力会賞受賞

新会員紹介

2006年8月～2007年2月 (敬称略)

ご入会ありがとうございました

Table with 12 columns representing months (8月 to 7月) and rows listing new members by city (札幌市, 岩別市, 小樽市, etc.) with their names.

WELCOME

アルテピア会員募集

世界の art に出会える

来館者の声 A★MUSE★LAND★2007 でのひととき

何度も訪れた展示室が不思議な迷路に様変わり。案内役の仔象の足跡をたどりながら、「ドリーム・キャッチャー」を頼りに、しばし夢の世界に漂いました。こういう切り口も面白いですね。体験コーナーが大盛況なのも納得！の企画でした。
札幌市 石井 敦子

年会費等詳細は北海道美術館協力会（アルテピア）札幌市中央区北2条西17丁目 TEL・FAX 011-644-4025
ホームページアドレス <http://www.artepia.or.jp>

五代美術館ミュージアムショップから

新商品！



「画室のぼら」



「花菖蒲園」



「樹間秋色」

〈繁野三郎：絵はがき〉

A★MUSE★LAND★2007から



編集だより

「アルテピア」50号をお届けする頃は「春うらら」の季節だと思います。

たかが50号ですが、創刊時の会報は、B5判モノクロで、それはそれで味のあるものだったようです。時を経て、現在はA4判一部カラー印刷…となりました。

表紙も以前は、「北海道に名画を贈る道民の会」寄贈作品特別公開展会場風景…や三岸好太郎美術館コンサートの情景であったりしたこともありました。そして、今号から各美術館を簡単に紹介するコーナーを設けています。不定期ですが、会員の皆さまの鑑賞の一助になれば幸いです。(F)